

実効性のある継続的な
藻場モニタリングの手引き

令和6年4月

水産庁

目次

第1章 目的	1
第2章 手引きの構成	2
(1) 手引きの構成と使い方	2
(2) 藻場モニタリングの定義	2
(3) 藻場モニタリング手法の選び方	2
第3章 藻場モニタリングの考え方	4
(1) 藻場モニタリングの必要性	4
(2) モニタリング手法	4
(3) 面積の考え方	8
(4) モニタリング定点の決め方	8
(5) モニタリングの実施時期	11
第4章 藻場のモニタリング手法	12
(1) コドレート法	12
(2) 景観被度法	17
(3) 船上からの景観被度法	17
(4) 水中写真からの被度計測方法	19
(5) モニタリング手法による精度の違い	24

第5章 藻場面積を把握する際の注意点	29
(1) CO ₂ 吸収量の算定における注意点	29
(2) ドローンを利用する場合の注意点	33

コラム

【コラム 1】 透明度	6
【コラム 2】 葉上・岩盤の浮泥の堆積状況の調査	6
【コラム 3】 水温の連続観測	7
【コラム 4】 サイドスキャンソナーを用いた藻場分布面積の把握	7
【コラム 5】 水中ドローンを用いた被度の計測	16
【コラム 6】 廉価版アクションカメラ	19
【コラム 7】 画像処理ソフトによる被度算定方法の紹介（その1）	21
【コラム 8】 画像処理ソフトによる被度算定方法の紹介（その2）	23
【コラム 9】 ドローン空撮で1枚の撮影画像で収まる範囲の計算	36
【コラム 10】 ドローンを用いた藻場面積の把握（例）	37